

7月26日(水)発行



ほぼ

日刊サマ-ミュ-ザ

Hobo Nikkan Summer Muza



これが
20世紀流バロックだ!!



マエストロ：村上寿昭(右)
ソリスト：有希マヌエラ・ヤンケ(左)
終演後、サインをいただきました。



7月25日(火) 東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団 © 青柳聡

「これだっ!」とプログラムを見た瞬間に思わず膝を叩いた、村上寿昭指揮東京シティ・フィルの「典雅なるバロック名曲集」。近年シンフォニー・オーケストラのプログラムから消えつつあった昭和の人気バロック名曲が現代に帰ってきた。ヴィヴァルディの「四季」、ヘンデルの「水上の音楽」、バッハの「管弦楽組曲」。昨今では作曲時の奏法や楽器を用いた歴史的な演奏が広まり、これら名曲をモダン・オーケストラの公演で聴く機会はすっかり減った。

だが今、20世紀流スタイルによるバロック音楽の復権がありうるんじゃないか。そんな説得力を持った快演がここに。前半のヴィヴァルディでは有希マヌエラ・ヤンケが潤い豊かな独奏ヴァイオリンを披露。小編成のアンサンブルによる端正な「四季」。しかし後半になると一転して舞台上にはフルサイズのオーケストラがドドーンと並ぶ。ヘンデルの「水上の音楽」は懐かしのハーティ版で。ホルン4本が勇ましく鳴り響く。作曲当時にはなかったクラリネットも堂々と参加、ティン

パニも加わる。現代の標準編成によって生み出されるゴージャスで重量感のある演奏。これが20世紀流バロックだ。そして真打、バッハの「管弦楽組曲」はマーラー編曲版。なんと、管弦楽組曲第2番と第3番を合体させた「バディヌリ」あり「G線上のアリア」ありのキメラのような楽曲が出現。これは新鮮。第4形態に進化したシン・ゴジラが武蔵小杉に襲来したように、新たな形態へと変化するシン・バロックがミュ-ザを席卷した。

(音楽ジャーナリスト 飯尾洋一)

7/25
東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団

お客様の声から♪

バロックの名曲が一度に3曲も聴けて大変満足。(64歳・あきちゃん) / 手頃な金額で素敵な音楽をありがとうございました。ここまで来るのに暑かったです。とでもとても、いやされました。G線上のアリアが大好きで、涙がこぼれました。又必ずここで音楽を楽しみたいです。係の方もとても親切でした。(59歳・パート・主婦) / 後半選曲が楽しかった。フルート見事。(72歳・主婦・孝坊) / いずれも名曲中の名曲だけに、聴き応えがあった。リハーサルから聴いていたが、終盤、残り時間がわずかになってからでも、バランスを取るために大胆な配置換えまで行ったのには驚いた。村上さんの強い気持ちと、それに応える団員のチームワークに感銘を受けた。(50歳・地方公務員) / チェンバロが素晴らしかった。ソリスト(バイオリン・フルート)を見事に支えました。(67歳・無職・バトルロイヤル) / 又、好きな指揮者と楽団が増えました。サマ-ミュ-ザならではのことですよね。ありがとうございました。(70歳・自営業)

本日 7/26(水)

コンサート前のお楽しみ♪

東京都交響楽団

15:30 ~ 最長 17:30
公開リハーサル (自由席)

▶▶ NEXT!!
フェスタサマ-ミュ-ザ

東京フィルハーモニー交響楽団
《ジョン・ミヨンフンのベートーヴェン》

7/27 (木) 19:00 開演 (15:00 開場)
ミュ-ザ川崎シンフォニーホール

指揮 /
ジョン・ミヨンフン
ピアノ /
清水和音



《オール・ベートーヴェン・プログラム》
ピアノ協奏曲第3番
交響曲第3番「英雄」

15:30 ~
公開リハーサル (自由席)

当日券あり

S, A, B 席 計 200 枚程度

S : 6,000 円

A : 4,000 円

B : 3,000 円

ヤング : 各席半額 (小学生以上 25 歳以下の学生)

■ 電話予約なし

■ 4 階カウンター 10:00 ~ 17:30 まで販売

■ 当日券カウンター 18:00 ~ 販売

※ 17:30 ~ 18:00 の間は販売を休止いたします

ミュージック川崎シンフォニーホール & 東京交響楽団

名曲全集

～オーケストラの感動をあなたに～



リゲティ「ボエム・サンフォニック」の様子。開演前から舞台前面と両サイドに100台のメトロノームが並び、時を刻み続けた。2015年11月23日(名曲全集第112回)

ミュージックでは「名曲全集」を英語で“The Masterpiece Classics”と訳している。どの曲が「Masterpiece(名曲)」なのかは人それぞれである。音楽家たちの要望を汲み取りながら、来場者に喜ばれるプログラムを考えることも私たちの大切な仕事である。

プログラムにテーマ性のある公演が最近の私のお気に入りだ。そういう意味では、東京交響楽団の音楽監督ジョナサン・ノットが登壇した第112回公演(2015年11月23日、写真)がとても印象に残っている。100台のメトロノームを使ったリゲティ「ボエム・サンフォニック」に始まったこの公演。会場の皆さんと楽団員全員で最後のメトロノームがとまる瞬間を見届けた。人生の光だけでなく影も大切なのだと感じたことを思い出す。

今回、皆さんにぜひおすすめしたいのが10月22日に開催される、ノット指揮「名曲全集第130回」公演。今回のテーマは、「変奏(ヴァリエーション)の世界」だ。どんな風景の変化が見られるのか、聴こえてくるのか、今からワクワクしている。

(事業課 ふ)

名曲全集 第130回
2017年10月22日(日) 14時開演
ミュージック川崎シンフォニーホール
指揮/ジョナサン・ノット SV7,000
オルガン/石丸由佳 AV6,000
ピアノ/児玉桃 BW4,000
CV3,000
program
リスト: パッハの名による前奏曲とフーガ S260/ (オルガン独奏)
シェーンベルク: 管弦楽のための変奏曲
ラフマニノフ: パガニーニの主題による狂詩曲
ラヴェル: ボレロ

今回、皆さんにぜひおすすめしたいのが10月22日に開催される、ノット指揮「名曲全集第130回」公演。今回のテーマは、「変奏(ヴァリエーション)の世界」だ。どんな風景の変化が見られるのか、聴こえてくるのか、今からワクワクしている。

(事業課 ふ)

QUIZ! なるほどミュージック

#4 美術品シリーズ-その3

あの美術家の作品も……!

【問題】

ホールの2階、ドリンクコーナーの上には、かわさき市民ミュージアムの収蔵作品のレプリカを展示しています。現在展示している作品の内、右の2作品は、世界的に有名なあの美術家の作品です。本日演奏される「我が祖国」の舞台であり、スメタナの故郷であるチェコで生まれ育ったこの作者は、さて誰でしょうか。

ちなみに、「我が祖国」が書かれた1874～79年に生きていた同時代人です。「スラヴ叙事詩」などの作品が有名で、6月まで東京・国立新美術館で展覧会が開催されていましたね!

→こたえは、この紙面の下(枠外)へ!



パートナーショップのご紹介
エンジョイ! 川崎!!
Enjoy Kawasaki

ピザ
カリフォルニア・ピザキッチン

ラゾーナ川崎プラザ4階
パートナーショップリストP.17

サマーミュージック特典 チケット提示で
バターケーキサービス

※詳細はパートナーショップリストをご覧ください

ミュージックの近くでしっかり食べたい方におすすめなのは、ラゾーナ4階の「カリフォルニアピザキッチン」!

味噌を使っている「ミソシュリンプサラダ」は野菜でんご盛り!スモールサイズに見えないボリューム!お店おすすめのピザ、「オリジナル BBQ チキン」はぱくぱく食べてしまう美味しさでした。2人でシェアして満腹!さらに、ソフトドリンクもお代わりできて大満足!平日はピザとパスタ、スープとサラダからそれぞれ選べるお得なランチセットもあるそうです。

そして、特典のバターケーキが気になる……ピザでお腹いっぱいになりそうな方は、ぜひシェアして楽しんでください!

(事業課 か)



友の会キャンペーン実施中

新規入会でもらえる!

サマーミュージック期間中(8/11まで)に友の会に入会された方に、【サマーミュージックオリジナルチケットホルダー】または【ミュージックオリジナルトートバッグ】のいずれか1つをプレゼント!

ミュージック友の会

- ・年会費3,000円
- ・チケット割引・優先予約など
- ・お得な6つの特典

詳しくは友の会入会窓口(ホール 歓喜の広場特設カウンターもしくは5階受付)まで

現・会員の方にプレゼント!

サマーミュージック公演のチケットをご購入の友の会会員様に【生田の天然水「恵水」ミュージックラベル】1本をプレゼント!DM同封の引換券をお持ちください。



当日の感動をすぐお届け!!

毎日
日刊サマーミュージック
Hobo Nikkan Summer Muza



バックナンバーはミュージックHPでも公開中!

http://www.kawasaki-sym-hall.jp/

貸館担当

今年でサマーミュージックも13年目を迎えました。1年の中でも一番期間の長いイベント。この時期はスタッフも揃いのポロシャツを着てお客様をお迎えしています。私もいつもとは違った雰囲気を感じながら事務所で仕事をしています。もちろんポロシャツは着ています。さて、ミュージックといえばクラシックもしくはジャズですが、個人的には70年代のロックやリズム&ブルースが好きで、少し昔のCDをよく聞きます。先日車を運転しながらマライナ・シヨウの「ライル」を聞いていて、デビッド・T・ウオーカーの絶妙なギタープレイになりました。この曲が入っているアルバムは名盤なのでかなりおススメです。しかし、音楽に集中するにホールの落ち着いて座って聞くのが安全ですね(笑)というところで気分爽快!サマーミュージックをお楽しみください!

スタッフ日誌